



労働災害が高止まりしていることを受け、 管内の 15 団体に災害防止対策の徹底を要請

令和元年 5 月 29 日

土浦労働基準監督署（署長 谷 渉）は 5 月 29 日、令和元年度労働災害防止関係団体等連絡会議を開催しました。会議の冒頭、谷署長より労働災害防止対策の徹底に係る文書を団体の代表者に手交し、傘下会員事業場に対する周知・啓発等を含め、協力を要請しました。



写真は文書を受け取る（一社）土浦労働基準協会の島田事務局長

同署管内における昨年の休業 4 日以上上の死傷災害は 611 件発生しており、2 年連続で 600 件を超える極めて憂慮される状況となっています。

このため同署では、特に災害件数の多い「転倒災害」、「墜落・転落災害」及び「はさまれ・巻き込まれ災害」の対策の徹底を呼びかけています。

会議では、管内の労働災害の発生状況について、吉成労働衛生専門官より説明した後、深津課長より第 13 次労働災害防止推進計画の進捗状況や転倒災害を防止するため策定した「STOP! 転倒災害プロジェクト土浦」の説明があり、具体的な進め方について意見交換等を行いました。

【問い合わせ先】 土浦労働基準監督署 TEL029-821-5127